

事業名	カンボジア王国 中学校体育科教育支援事業（文部科学省戦略的二国間スポーツ国際貢献事業〈スポーツ・フォー・トゥモロー:SFT プログラム〉）
事業分類	スポーツを通じた開発支援事業
協働団体	カンボジア王国 教育・青年・スポーツ省

活動目的

当会はカンボジア教育・青年・スポーツ省と協力して、2006年から小学校体育科教育の基本的な普及基盤を確立するための活動を継続しており、現在は、学校体育スポーツ局の自立的な普及体制の確立を目標として、15州への普及と普及システムの構築に取り組んでいる。

一方、中学校体育に関しては、未だ整備が遅れており、小学校で体系的な体育の授業を受けた子ども達が中学校に進むとまた一貫性のない体育の授業に戻ってしまうのが現状である。また、中学校体育科教育は、学校体育スポーツ局に加え、国立体育・スポーツ研究所もかかわるため、制度的な整理と役割の明確化、人材育成が引き続き必要である。カンボジアでは自国開催が決定している2023年の東南アジア競技大会(SEA ゲーム)に政策の重点を置いている中、小学校・中学校の一貫した体育科教育を確立していくことは、国家政策的に見ても必要性は高い。

活動概要

- 本年度は2015年11月より事業を開始し、3月までに以下の活動を実施した。
 1. 鹿屋体育大学の佐藤豊教授を招聘しての指導要領記載要綱ワークショップの実施(2015年11月2日～4日)。
 - 教育省の独自予算により、カンボジア全25州43名の教育局担当官が参加
 - 指導要領記載に向けた各関係局の役割、スケジュール等の策定
 2. シンガポールの体育科教育システムの調査(2015年11月19日～21日)
 - 国立教育研究所(NIE)の施設視察
 - ナンヤン技術大学の川端専門家との協議
 - シンガポール教育省関係者との協議
 3. タイの体育科教育システムの調査(2016年1月24日～28日)
 - 基礎教育委員会(教育省内組織)との協議
 - 2教員養成機関(国立体育研究所、スリナカリンウィロット大学)の視察及び協議
 - 4中学校(スリナカリンウィロット大学附属中学校、スワンクラブ中学校、ディワングコーンウィッタヤパット中学校、スリアユタヤ中学校)の訪問、学校システムについての協議
 4. バッタバン州での指導要領ドラフトを使用したワークショップの実施(2016年2月16日～20日)
 - バッタバン州教育局担当官2名、体育教員16校・計29名が参加
 - サッカー、バレーボール、バスケットボールの3種目の指導要領ドラフトを使用しての試験授業及びグループディスカッション
 5. 中学校体育科教育の目的、種目を決めるための検討ワークショップの実施(2016年3月1～2日)
 - 中学校体育科教育の中で育てるべき児童の教育学的要素、内容の検討
 - 教育学的要素を教えるための種目の選定



指導要領記載要綱ワークショップ



タイ調査、スリナカリンウィロット大学での協議



バッタンバン州での指導要領ドラフトを使用したバスケットボールの授業

次年度の実施計画

- 指導要領ドラフトの継続作成
- バッタバン州、スヴァイリエン州及びプノンペン市での各2回の指導要領ドラフトの試行実施ワークショップ
- 指導要領内容を見直すレビューワークショップの実施(2回)
- プノンペン市での指導要領執筆ワークショップ
- 各州の教育局や体育教員を招聘し指導要領ドラフト最終版を利用したコンサルテーション・ミーティングの開催
- 指導要領認定セレモニー

支援・協力団体

文部科学省、日本スポーツ振興センター